

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	身体障害者日常生活用具給付		事業コード	11310

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	~63
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	年度

## 2 実施根拠及び関連法令等

身体障害者福祉法・市重度身体障害児者日常生活用具給付等実施要綱 市点字図書給付事業実施要綱
--

## 3 事業概要

(1) 事業の目的 在宅の重度身体障害者に対し、浴そう等の日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的とする。	(2) 対象（誰、何） 概ね障害程度が2級以上の者 対象数 368件
(3) 平成13年度事業の内容 ・平成13年度決算額 役務費 福祉電話 153千円 扶助費 日常生活用具給付（国制度分） 29,505千円 日常生活用具給付（市単分） 870千円 ・給付件数 368件（うち14件市単分）	(4) 総合計画・実施計画における概要 自立の援助を助けるための日常生活用具の給付 (5) 個別計画の概要 計画名 相模原市障害者福祉計画 計画年次 10年度～22年度 相模原市障害者福祉計画に基づき、住み慣れた地域での自立生活を支援するため、重度障害者に対する在宅福祉サービスを充実する。

## 4 評価指標

指標名	日常生活用具費給付達成率		
指標式	給付額（実績） / 予定給付額 × 100		
指標設定の意図	日常生活用具の予定給付額に対する実施給付額の達成率		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 96	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算（予算）額	81,207	27,899	30,528	36,450	31,807
	人員・時間数	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
	人件費	842	842	842	842	842
	その他経費					
	合計	82,049	28,741	31,370	37,292	32,649
特定財源	34,068	12,309	13,946	16,847	14,516	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 96.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{96.0}{100.0} \times 100 = 96.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	ほぼ見込み通りの数字を得ることができた。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	自立生活を支援するため、日常生活用具の給付は必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	補助金により給付事業が実施され、個々の障害者の必要に応じ適切な給付が行われている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	扶助の性質上、適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	障害者の自立支援と社会参加のための支援として満足を得られている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	障害者の生活を助け、安心して生活できる環境作りのためには有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 給付対象品目がワープロからパソコンへ移行するなど、時代の流れに即して、より必要性の高いものを給付することで、成果向上が見込まれる。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 必要に応じて、適切な給付を行われている。</p>	

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	国の要綱で定められた基準に基づき事業を実施しているため、他自治体と大きな差異はない。
今後の進め方		説明	誰でも安心して生活できる福祉社会が求められる中で、日常生活用具の給付は自立支援を手助けする事業として有効である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--